

第3学年〇組 学級活動（1）指導案

日 時 令和7年〇月〇日（〇）第5校時

場 所 3年〇組教室

指導者 〇〇 〇〇

1 議題「運動会でお世話になった4年生へお礼を伝える4-〇感謝祭をしよう！」

ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決

2 議題について

（1）児童の実態

本学級は、元気で明るく、友達によさや多様性を理解し、支えあえる児童が多い。意欲的に発表ができる児童も多く、たくさんの意見が集まり、よりよいクラスにしようと思える児童が増えてきた。自分たちのことは自分たちでしようと思欲的に活動している。意見を交流する中で、友達の意見と折り合いをつけながらよりよい形にしていこうという気持ちが少しずつ育ってきたと実感している。

4月には学級会オリエンテーションを行い、学級会の流れや計画委員の仕事、発表の仕方などを確認した。その後臨んだ「クラスの合言葉を決めよう」では、「こころがハッピー！ダイヤチャレンジ！」という合言葉を決めることができた。たくさんの意見の中、①こころがハッピーになれるようなクラスにしたい、②ダイヤのような固いきずなどでどんなことにもチャレンジしたい、という思いを話し合ってまとめることができた。1学期末に行った「夏だ！七夕だ！3-〇思い出夏祭りをしよう」では短い準備期間の中、心に残る夏祭りを実施することができた。

しかし、自分の「やりたい・やりたくない」という基準で話し合いを進めようとする児童や、なかなか自分の意見をもてず、話し合いに参加できない児童も一定数いる。「自分がやりたいから・やりたくないから」ではなく、提案理由に沿ったものや学級のためによりよいものという視点で比較したり、決定したりする経験を増やしていきたい。そして、友達と意見を交換する楽しさを実感するとともに、納得感のある合意形成ができるよう経験を積ませていきたい。

（2）議題選定の理由

本議題は、運動会で一緒にソーラン節を練習した4年生に感謝の気持ちを伝えたいという児童の思いから選定されたものである。他にも「3-〇秋祭りをしよう」や「クラスのミニ音楽会をしよう」「学習発表会の内容を考えよう」という議題が候補となったが、運動会練習で共に学び、励ましてくれた4年生に感謝を伝えるとともに、交流することを通してもっと仲を深めたいという思いから選定された。

事前にとったアンケートでは、4年生のすごいところとして行動の素早さや返事など規律に関わる部分が多く挙がった。また、運動会前日に4年生からもらった励ましの手紙に関しては「とてもうれしかった」「お返しをしたい」という前向きな言葉が多かった。

「4年生に楽しんでもらい、感謝を伝える」という相手を意識させた話し合いや実践を通して、異学年で交流する楽しさや、相手に喜んでもらう嬉しさなどを実感させたい。

3 研究課題との関わり

(1) 研究課題

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

(2) 研究の視点

主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくり
～特別活動の「見方・考え方」を働かせた話し合い活動の充実～

(3) 研究課題解決のための仮説と手立て

仮説Ⅰ 自分たちが抱えている学級の諸問題に気づき、問題解決に正面から向き合うことができれば、学級を形成する一員として、生活の充実向上のために進んで貢献しようとする態度や行動を身に付けることができる。

手立て① 本時の話し合いにおいて大切にしたいことを事前に示し、学級内で共通のイメージをもち、話し合いに参加できるようにする。

手立て② 提案理由やめあてを意識した話し合いを行わせることで、納得感のある合意形成ができるようにする。

仮説Ⅱ 意見の背景にある仲間の考えを理解したり、多様な意見のよさを生かしたりしながら合意形成し、実践することで、互いを尊重する温かい人間関係が構築され、協働的な学びの基盤となる実践的な態度を身に付けることができる。

手立て① 学級会ボードに出された意見や話し合う柱を事前に示し、常に見られるようにすることで、自分の考えや意見をもち、学級会に参加できるようにする。

手立て② 心配意見や反対意見を板書し可視化することで、多様な意見を大切にしたい話し合いができるようにする。

4 第3学年及び第4学年の評価規準

観点	よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
評価規準	みんなで楽しい学級生活をつくるために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。意見の比べ方やまとめ方を理解し、活動の方法を身に付けている。	楽しい学級生活をつくるために、問題を発見し、解決方法について理由などを比べ合いながら合意形成を図り、協力し合って実践している。	楽しい学級生活を創るために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己の考えを生かし、役割を果たして集団活動に取り組もうとしている。

5 事前の活動

日時 活動の場	児童の活動 ○学級全員 ●司会グループ	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】(評価方法)
○月○日(○) 朝の時間	●児童が書いた議題案・提案理由を確認し、議題を選定する。	・提案理由を念頭に置いて選定することを指導する。	◎学級生活をよりよくするために進んで議題を考えたり、選んだりしようとしている。 【主体的に取り組む態度】 (観察)
○月○日(○) 朝の会	○議題を決定する。	・計画委員会の提案のもと、学級全員で決定する。	
○月○日(○) 業間休み 昼休み	●活動計画を作成する。 ●提案理由・めあて・話し合うこと・決まっていることを確認する。 ●会の進行の仕方を確認する。	・実態を踏まえ、日時や場所などの条件を教師が設定する。 ・みんなが納得できる提案理由になるように、提案者に助言する。 ・実践にあたって必要なことは何かを考えて柱立てができるように助言する。	◎司会グループの役割、話合いの進行の仕方等を理解している。 【知識・技能】 (活動計画・観察)
○月○日(○) 業間休み	●教室内のミニ黒板に提案理由、めあて、話し合うことを掲示する。		
○月○日(○) 5時間目	○「学級会ノート」に自分の考えを記入する。	・話し合うことや決まっていることが共通理解できるよう、必要に応じて助言する。	◎実践の目的に合った意見を考え判断し、ノートに書くことができる。 【思考・判断・表現】 (ノート)
○月○日(○) 業間休み 昼休み	●全員のノートに目を通し、書かれた意見を整理する。	・出された意見から話合いの見通しがもてるように助言する。	
○月○日(○) 朝	●意見の短冊をクラスに掲示する。 ○疑問点や質問を確認する。		

○月○日 (○) 帰りの会	○ノートを受け取る。	・ノートに励ましの言葉等を記入し、話合いの意欲を高める。	
------------------	------------	------------------------------	--

6 本時の展開

(1) 本時のねらい

提案理由や話合いのめあてを意識して話合い、多様な意見のよさを生かしながら、4年生に感謝の気持ちを伝えられる会の計画を考えることができるようにする。

(2) 児童の活動計画 当日配布

(3) 教師の指導計画

活動の計画	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】(評価方法)
1 始めの言葉 2 計画委員の自己紹介 3 議題の確認	・自分のめあてが言えるように励まし、役割への意欲や自信を高める。	
運動会でお世話になった4年生へお礼を伝える4-○感謝祭をしよう!		
4 提案理由やめあての確認 5 決まっていることの確認	・提案理由の中で、特に大切なキーワードとなる言葉をモニターで示し、話合いの指針となるようにする。 ・提案者の思いや願いを学級全員が理解した上で話合いに参加できるよう助言する。	
<p>・○月○日 (○) 5時間目 後半30分 ・お礼を伝える工夫をした遊び 1つ (20分) ・お返しサプライズ (10分) ・準備は1時間 ○月○日 (○) 6時間目業間 6回 昼休み 2回</p>		
6 先生の話 7 話合い 柱1 4年生にお礼がより伝わる方法を考えよう ・お礼を伝える工夫をした遊び ・お返しサプライズ	<p>・決まっていることを確認し、児童全体が共通理解した上で話合いが行われるようにする。</p> <p>・提案理由の意識付けを行うとともに、話合いの視点、キーワードを確認する。</p> <p>・前回までの学級会での課題を踏まえて話し合えるように助言する。</p> <p>・発表者が偏らないよう指名の仕方を助言する。</p> <p>・話合いの方向がずれたり停滞したりしたときは、助言をする。</p> <p>・自分だけでなく学級全体を意識した意見と理由を考えるように助言する。</p>	<p>◎これまでの話合いの経験を生かし、合意形成の手順や出された意見をさらに深めるための話合いの方法を理解している。</p> <p>【知識・技能】 (観察・発言)</p>

<p>柱2 役割分担</p> <p>8 決まったことの確認</p> <p>9 話合いの振り返り</p> <p>10 先生の話</p> <p>11 終わりの言葉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間の意見を聞き、納得した上で自らの考えを変えることは必要であることを助言する。 ・ノート記録の児童が発表できるよう、事前に指導をしておく。 ・発表時には、決まったことと理由も合わせて発表できるように助言する。 ・よかった点や課題について自己評価し、友達のよかった点についても相互評価できるように助言する。 ・司会グループの活動を称賛するとともに、次回の学級会の課題と今後の活動に向けての見通しを確認する。 	<p>◎理由を明確にして考えを伝えたり、自分と異なる意見を受け入れたりしながら、合意形成を図っている。</p> <p>【思考・判断・表現】 (観察・学級会ノート)</p>
---	--	--

7 事後の活動

日時	児童の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】 (評価方法)
○月○日 (○) 6時間目	<ul style="list-style-type: none"> ・係ごとに準備を行う。 ・振り返りでは各係から伝えたいことを発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・複数人で係を担当し、それぞれが役割を持てるようにする。 	<p>◎合意形成したことをもとにみんなで協力し、進んで集会の準備に取り組んでいる。</p> <p>【主体的に取り組む態度】 (観察)</p>
○月○日 (○) 5時間目	<ul style="list-style-type: none"> ・お礼を伝える会を实践し、振り返りを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話合いや実践のよかった点、課題点等を振り返るよう助言する。 	<p>◎集会の目的を考え、めあてを意識しながら友達と協力して実践している。</p> <p>【思考・判断・表現】 (観察・振り返りカード、感想)</p>

8 備考 在籍児童数：○人